

令和3年12月 加茂市長定例記者会見
R3. 12. 3 (金) 10:00

1 加茂山公園のローラースライダーでの事故について

既に報道でもありました通り、11月2日に加茂山公園のローラースライダーにて、校外学習で加茂山公園を訪れていた五泉市立橋田小学校の1・2年生児童23名のうち、1名が頭部骨折などの重傷、4名が顔などに打撲や裂傷を負う事故がありました。事故に遭われた方々に対しまして、心からお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い回復をお祈り申し上げます。ご家族の皆さまにも、ご心配をお掛けし大変申し訳ございません。加茂市といたしましてもできる限りの対応をまいります。

また、この件に関しまして、公表が遅くなりましたことを深くお詫び申し上げます。五泉市教育委員会の公表を受け、このたびの公表となりました。

なお、ローラースライダーは老朽化のため、今年度での撤去が決まっております。既に入札は終了していますが、リス園の閉園に合わせ11月23日までの使用とし、その後に撤去の予定でした。しかし、11月2日の事故により一旦使用を中止し、残りの期間が少なかったことからそのまま使用中止いたしました。

現在、事故の調査中ということもあり、検証が終了するまで撤去を行わない予定です。撤去後は、新しいローラースライダーを設置する予定ですが、より安全に配慮し安心して楽しんでいただけるよう努めてまいります。

2 新型コロナウイルスワクチン接種について

5 月から始めました新型コロナウイルスワクチンの集団接種につきましては、加茂市医師会、加茂薬剤師会などの関係者、さらには市民の皆さまのご協力により順調に接種が進み、11 月 28 日で終了いたしました。本当にありがとうございました。

11 月 28 日現在の接種状況は、12 歳以上の 23,983 人に対し、1 回目の接種を終えた人は 21,862 人で 91.16%、2 回目の接種を終えた人は 21,682 人で 90.41%です。

12 歳から 64 歳の方々の接種状況については、対象者 14,339 人に対し、1 回目の接種を終えた人は 12,614 人で 87.97%、2 回目の接種を終えた人は 12,484 人で 87.06%です。

また、3 回目の追加接種の対応については、2 回目の接種を終了した方のうち、原則 8 か月以上経過した 18 歳以上の方を対象とするという国の指針を踏まえて接種を開始します。既に、令和 3 年 3 月から 4 月に 2 回目の接種を終えた病院勤務の方へは、11 月 26 日に接種券を発送しており、今月中には勤務先の病院で 3 回目の接種を開始いたします。

2 回目の接種を終え、8 か月以上経過する 65 歳以上の高齢者や 64 歳以下の一般の方々には、来年の 1 月から順次、接種券を発送し、2 月から接種を開始できるよう準備を進めています。

なお、引き続きコールセンターを設置して、接種に関する相談を受けています。接種方法は、集団接種と加茂市医師会のご協力により医療機関での個別接種を行い、集団接種の会場は加茂文化会館小ホールを使用します。

集団接種については、対象者に日時を指定する方式で実施する予定です。

市といたしましては、国・県と連携してしっかりと取り組んでいくとともに、随時ホームページや広報等でお知らせしていきます。

3 「避難支援セミナー」の開催について

加茂市では、災害時の要配慮者、避難行動要支援者の避難支援について、行政と地域がどのような役割を担うのか、地域でどんな対応を取れば良いのかなどの理解を深めるため、新潟県と共催で「避難支援セミナー2021 in 加茂」を、12月12日午後1時30分から産業センターで開催します。

当日は、新潟大学危機管理本部危機管理室の田村圭子先生から「災害からの地域の安全・安心を考える～避難行動要支援者との関わり～」という演題でご講演いただきます。

田村先生は、過去の豪雨災害等の被災状況を元に、災害時の避難行動要支援者の避難支援について研究されており、行政と地域がどのような取組を進めていけばいいのか、分かりやすく解説していただけるものと思います。

このセミナーを通して、災害時の要配慮者、避難行動要支援者の避難支援について考えていただくきっかけになればと考えておりますので、多くの皆さまからのご参加をお待ちしております。

4 登録有形文化財について

11月19日に国の文化審議会が開かれ、新潟県内では唯一、加茂農林高等学校正門及び第二洋灯室が登録の答申を受けました。登録の申請では、教職員の皆さまや同窓会のお力添えがあったと伺っています。なお、文部科学大臣による登録証の交付は数ヶ月先になる見込みです。

また、7月16日に文化審議会から答申を得ていた清雲亭山重の建物3棟が、10月14日付で文部科学大臣により国の文化財登録原簿に登録され、登録証が交付されました。3棟の内訳は、山重本店店舗、仲町通店舗及び山の蔵です。

加茂農林高等学校と山重様に、心よりお祝い申し上げます。

5 低所得世帯の灯油等購入費の助成について

新型コロナウイルス感染症の影響により、自宅で過ごす時間が長くなっている中で、原油価格の高騰により灯油価格の上昇が顕著となっています。そのため、収入が少ない世帯ほど経済的な影響を大きく受けています。

加茂市では、そうした状況を踏まえ、低所得者世帯の経済的負担を軽減し、生活の安定と福祉の増進を図るため、生活保護世帯、低所得の子育て世帯や市町村民税の非課税世帯を対象に灯油等購入費 5,000 円を支給いたします。支給対象世帯は、約 3,000 世帯への支給を見込んでおり、今後の予定としては、加茂市議会 12 月定例会で、灯油等購入費の補正予算について市議会からご審議いただき、可決されれば、受付を開始いたします。

6 米価下落等に伴う緊急支援について

この度、令和 3 年度の全国的な緊急事態宣言やまん延防止等重点措置による飲食店の時短要請など、新型コロナの感染拡大による影響で外食需要が大きく減少し、米の需要が急速に減退したことから米価が下落しました。

また、今後資材等の高騰が見込まれることから、大幅な所得減となった農業者に対して直接的な緊急支援を行うため、加茂市議会 12 月定例会でご審議いただき、可決されれば、加茂市新型コロナウイルス感染症対策農業者緊急支援事業を実施します。

対象者は、加茂市在住であること、20 アール以上主食用米を作付けしていること、水稻生産実施計画書を提出していること、市税等の未納がないこと

をすべて満たす農業者です。

対象となる面積については、米の需給調整推進の観点から経営している水田面積のうち、令和3年産作付目安面積で農家間調整後の範囲内で支援します。

交付単価は主食用米作付面積10アール当たり2,000円、対象面積は841ヘクタールで予算規模は1,682万円となります。

避難支援セミナー2021 in加茂

災害時の要配慮者、避難行動要支援者の避難支援について、行政と地域がどのような役割を担うのか、地域でどんな対応を取れば良いのかなど、一緒に考えてみませんか。

令和3年12月12日(日)

13:30~15:30 (開場13:00)

加茂市産業センター ホール (加茂市幸町2-2-4)

プログラム

基調講演 災害からの地域の安全・安心を考える
～避難行動要支援者との関わり～

新潟大学
危機管理本部危機管理室 教授 田村 圭子 氏



2004年3月京都大学大学院情報学研究科博士後期課程単位取得。同年4月京都大学防災研究所研究員。2005年3月博士(情報学)(京都大学)取得。2006年4月新潟大学災害復興科学センター特任准教授。2009年4月同大学危機管理室/災害復興科学センター(兼務)教授。2014年6月より現職。専門は危機管理・災害福祉。内閣府「個別避難計画作成モデル事業アドバイザーリーボード」委員、国土交通省「国土審議会」委員、「社会資本整備審議会」専門委員などを歴任。

【参加申し込みについて】

12月7日までに加茂市総務課へ電話、メール、または、この用紙に記入のうえFAXしてください。

定員150名・参加無料
事前申込必要

参加申込書	
氏名	
住所	
連絡先☎	

主催:加茂市・新潟県

お問い合わせ
加茂市総務課防災係
TEL:0256-52-0080
FAX:0256-53-2729
bousai@city.kamo.niigata.jp